

姉妹都市 ドイツ バイエルン州 マインブルク市 訪問

2018.9.20 - 9.26



ヨゼフ・ライザー マインブルク市長と一緒に

守谷市の姉妹都市、ドイツ・マインブルク市を訪問。マインブルクとは、これまで何度も相互交流が行われてきましたが、今回も市長をはじめ、市の職員の皆さまに歓迎していただきました。



訪問団が楽しみにしていたオクトーバーフェストにも参加



オクトーバーフェストの美味しいビールにご満悦!(ミュンヘン)



世界一良質のホップを生産しているホップ農場の見学



副市長のお嬢様のお宅でバーベキューパーティーを開いてくれました



オクトーバーフェストにマインブルク市長も途中参戦!

マインブルク訪問 スケジュール

- 9.20 守谷市を出発
- 9.21 マインブルク市到着、市内観光、歓迎会
- 9.22 レーゲンスブルク、フンダートバッサー観光、懇親会
- 9.23 ホップ農場見学、懇親会
- 9.24 ミュンヘン市内観光
- 9.25 オクトーバーフェスト参加
- 9.25 帰路
- 9.26 守谷市到着

マインブルクを訪問して

訪問団 団長 海老原 美樹

MIFA30周年記念事業の一つとしてマインブルク市訪問に団長として参加しました。マインブルクに行く前は、ちゃんと交流できるのか一抹の不安がありました。しかし、訪れてみると温かく迎えてくれたばかりでなく、昔からの知り合いのように接して下さったので、とても嬉しかったです。ホームステイ先の方とはお互いの家族の事や趣味、住んで

いる環境などいろいろ話すことが出来ました。コミュニケーションを取るためには語学を学ぶのも重要ですが、相手の文化を理解し、自分自身が積極的に行動しなければ難しいと感じました。

最後になりますが、MIFAの皆さまはじめ、マインブルクの方々、貴重な体験をさせていただき、ありがとうございました。



懇親会では折り紙で交流



訪問団員の書家 白澤さんの掛け軸をMIFAからのお土産に



書のパフォーマンスを通して作品のプレゼント



姉妹都市 アメリカ コロラド州 グリーリー市 訪問

2019. 4.16 - 4.20



ジョン・ゲイツ グリーリー市長(左)と市議会議員代表の方にMIFAからのお土産をお渡ししました

MIFA設立30周年記念事業として姉妹都市、アメリカ・コロラド州グリーリー市を訪問。前年、守谷市に来市したノーザンコロラド大学生の日本語授業の見学や日本文化体験を通しての交流会など有意義な時間を過ごすことができました。



ビジネス学部の学部長(前列中央)を表敬訪問。日本語教師の福多文子さん(左手前)と前学部長のご主人と一緒に。



ノーザンコロラド大学

フェアウェルパーティーにて茶道を体験していただきました。日本語授業の参観では、学生が日本語でグリーリー市の紹介を、MIFA訪問団も日本語で守谷市の紹介をしました。授業ではチーム対抗のゲームにも参加し、楽しく交流することができました。



グリーリー市へのお土産は「吊るし飾り」と「お内裏様」です。

グリーリー訪問 行程

- 4.16 市長表敬訪問&歓迎レセプション
ホームステイ
- 4.17 ノーザンコロラド大学 見学
- 4.18 観光・フェアウェルパーティー
- 4.19 日本語授業参観
- 4.20 JAPAN CUP



コロラド日米協会主催 JAPAN CUP 参加



コロラド日米協会が主催するジャパカップに参加して折り紙と書道を通して交流しました

グリーリーを訪問して 訪問団一同

MIFA設立30周年記念事業の一環として姉妹都市グリーリー市を訪問しました。数年前からグリーリー市民の方と大人同士の市民交流をしたいと考えておりましたが、中々実現には至りませんでした。昨年5月にグリーリーにあるノーザンコロラド大学の学生をMIFAが受け入れたことが縁で今回の訪問となりました。グリーリーにはMIFAのような国際交流の市民団体がありません。その中で、ノーザンコロラド大学の日本語教師である福多文子さんと

ギブソン壽美子さんがホストファミリーの手配から滞在中のスケジュールまですべてをコーディネートしてくださいました。本当にお二人には感謝しきれないほどお世話になりました。またホストファミリーの皆様やグリーリー市役所の皆さん、そして市民の方々とも楽しく交流することが出来ました。今回の訪問を機に今後も市民同士の交流が続いていくことを願っております。

守谷 灼熱の雪合戦に参加

2018.8.25 / 守谷駅西口前広場

今年で5回目となる「守谷 灼熱の雪合戦」MIFAは第1回目から参加しています。今年は、商工会青年部と協力し、初めてインターナショナル大会を実施しました。守谷市、取手市、つくば市、阿見町がそれぞれチー

ムを結成し、在留外国人どうしの対抗戦が行われました。当日は最高気温が35度を上回るほどの猛暑日となり、まさに灼熱の雪合戦となりました。



姉妹都市ドイツ・マインブルク市の学生を引率したハネローレ副市長も出席



守谷市、取手市、つくば市、阿見町からの応援団も

選手として参加した外国人の国籍は12カ国。現在の在留外国人の多様化の現れかもしれません。4チームの選手、関係者を含めた参加者は約70人となりました。

守谷市商工会青年部主催
守谷市国際交流協会協賛

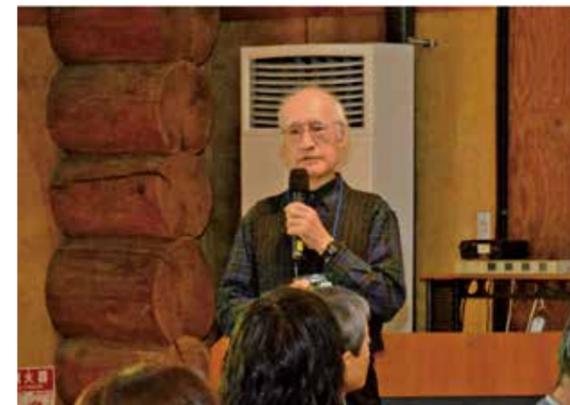


雪を型で固めた雪玉を使って対戦

英語でおしゃべり ワークショップ

語学研修委員会ではMIFA30周年記念事業として11月3日の文化の日に、MIFA設立趣旨でもある異文化共生”Multicultural Symbiosis”をテーマにワークショップを開催。「異なる文化、言語、習慣をいかに理解し合うか」というテーマに沿って、異なる言語文化背景を持つ4人が英語でスピーチしました。4人のス

ピーカーには、それぞれの異文化体験における戸惑いや驚き、見習いたい点などをお話いただき、会場は大いに盛り上がりました。その後、各テーブルで議論を深め、まとめた意見を英語で発表。これによりMIFAの設立趣旨 (Mission Statement) を皆さんにより深く考えてもらうことができました。



それぞれの想い

ラオスの高校生を受け入れて

設立30周年記念事業で招聘されたラオスの高校生を受け入れました。我が家に来てくれたケンチャン(ブンケンくん)は、とってもいい子で、子供たちも大きなお兄さんができたようですっかりなついていました。初日はあいにくのお天気でお祭りに行けなかったのですが、ボウリングに出掛けてみました。二日目はMIFAコンサートで彼らのパフォーマンスを楽しみました。普段はあどけない彼らもステージでは素晴らしい演技をしていて素晴らしかったです。毎朝ご飯を食べた後に、息子たちと近くの広場でサッカーをするのはすっかり日課になっていました。四日目にブンミーちゃん、ブッサバーちゃんたちと行った大洗水族館&海に行ったのが一番楽しそうでした。 長谷川朝美



ホームステイを受け入れた期間は、あっという間の、でもとても濃い4日間でした。最初は言葉が通じず、意思の疎通がままならない不安が大きかったのですが、他のファミリーと一緒に掛かけたりして、楽しく過ごすことができました。食事会の時には、我が家の長男とサッカーの話で盛り上がったラオスの高校生の一人と公園でサッカーをして遊びました。ついでここに連れて行かなくてはいけないのでは・・・と思ってしまうがちですが、近場でもみんなで集まって過ごすことで十分楽しめました。 西田貴子



マイヤー夫妻を訪ねて ～18年間の交流は宝物～



マイヤー家との交流は2000年に娘がホームステイして以来18年に及びます。お互いの子どもたちがホームステイするなど家族ぐるみでの交流が続いています。30周年記念事業でのマインブルク市訪問では、マイヤー家のお招きを受け、夫人の美味しい手作りタルトを庭の葡萄棚の下でいただきました。ご夫妻の人柄の暖かさと庭の美しさは変わりなく、その後、マインブルクの街を歩き周り、ホップ生産で非常に豊かな地域だったのを実感しました。ミュンヘン近郊としての地の利が幸いし、今後も地域の中心であり・物心とも豊かで・美しく秩序ある人々の街として存続していくのだと思いました。 関根一郎/関根伸子

ラオスから日本を訪れて2018年夏



日本に行くことができとても嬉しく感激しました。日本の皆さんがとても優しくかったです。日本の文化や伝統を見たり体験できてとても有意義な時間を過ごすことができました。日本の文化は深く多様であることを知りました。大切な思い出ができました。 ブンケン(ケン)



日本に行って日本が大好きになりました。友達もできました。今回協力をしてくださった皆さん、受け入れをしてくださった方々、仲良くしてくれた生徒の皆さんに会うことができよかったです。ありがとうございました。きっとまた次の機会でお会いしましょう。 カンパーン(カー)



日本人の皆さんがこうした機会を作ってください、とても感激しました。今回の滞在で沢山の新しいことを学ぶことができました。日本の文化はとても美しかったです。関わってくださった日本人の方が優しく温かったです。またきとお会いしましょう。 ブンライイ



今回日本に行き沢山の時間を過ごし、日本の文化を学ぶことができよかったです。日本はとても綺麗で親切的な国でした。私たちがあたたかく迎え入れてくださり、親切にしてくださいありがとうございました。行くことのできた全ての場所が好きになりました。 スクサワツ(ラーニヤイ)



日本に行って見たり体験することができたことは、今まで感動した全てのものを超える感動を与えてくれました。日本で勉強することができて光栄でした。きとまた皆さんに会って、またラオスと日本の文化を交換したいです。 アンパイリン(テン)



日本に行くことができとてもうれしかったです。今回訪問をしたそれぞれ全ての場所での見学や体験することのできた活動がとても楽しかったです。この研修を実現させていただいた全ての方々にお礼を言いたいです。私たちが温かく迎えてくださり有難うございます。本当に感激しました。 ブワカム



私が日本に行って感じたことは、日本独特の体験をたくさんで学ぶことができ嬉しかったということです。今私が願っているのは、またいつかきと日本に行きたいということです。 ベッサダコーン(ナーカウ)



日本へ行くことができとても嬉しかったです。日本人の皆さんがとても優しく感激しました。ホームステイのお母さん、お父さんや家族がとても優しくしてくれて、大好きになりました。このような機会をくださり、本当にありがとうございました。また日本で皆さんに会いたいです。 ベッサワン(ベツ)



日本に行き、沢山のことを勉強することができ胸がいっぱいです。ラオスの文化を紹介でき、日本の文化を体験することができて嬉しかったです。日本文化を私たちに美しく見せてくれたので、よく理解することができました。また日本へまだ勉強していないことを学びに行きたいです。 パッターナー(アーイノイ)



日本で文化交流をすることができて嬉しかったです。ラオスの文化を紹介し日本の文化を知ることができたのはとても楽しい経験でした。 ブッサバー(ブツ)



日本に行くことができ、言葉では表せないくらいに嬉しく思い、感激しています。皆さんとてもあたたかく私たちを受け入れてくれて、想像を超えた体験でした。これからもずっと日本とラオスの友好が続いていくことを心から願っています。 ブンミー(レイ)



日本で勉強したそれぞれ全てのことが素晴らしい経験でした。C.C.Cで勉強をして、このようなチャンスを頂くことができよかったです。こうして研修をして、文化交流をして、日本を観光するために協力をしてくださった全ての皆さんに心から感謝しています。 カンタナー(ファイー)



まず初めに、この研修旅行を実現してくださった日本の協力者の皆さんに感謝しています。このような体験をすることができて私はとても感激しました。C.C.Cで勉強をしていてよかったです。ありがとうございます。 ナムフォン(フォン)



日本の皆さんと文化交流ができ、日本のことを見て・知ることができたのは素晴らしい経験になりました。受け入れをしてくださりありがとうございました。私は日本のことが大好きでしたが、今回日本で出会った皆さんがとても親切で優しく、日本のことを更に好きになりました。私たちのために沢山の労力と時間を割いてくださりありがとうございました。そしてアタプー県への寄付のご協力のことも忘れません。C.C.Cを代表して、心から御礼申し上げます。本当にありがとうございました。 マニワン・ビライサム



日本に行き、日本の素晴らしい文化や伝統を体験することができ素晴らしい経験をさせて頂きました。日本食も全てとても美味しかったです。受け入れをしてくださった全ての場所が私たちの為に完璧に用意されていて、感激しました。沢山の場所で充実した活動をさせて頂き、本当に感謝しています。心から、ありがとうございました。 ヌーカム・ケオサバット

「世界を知るシリーズ」大使講演会

世界各国の大使に、その国の文化や誠治経済状況などを講演していただく「世界を知るシリーズ」大使講演会。1993年の第1回から始まり昨年で25回目を迎えました。大使館との調整に苦勞をする場合も多々ありますが、さまざまな国の特徴を知ることができる非常に貴重な機会となっています。

	第15回	2009(平成21)6.13	大島 賢三 前国連大使 「日本と国連」
	第16回	2010(平成22) 1.16	西村 六善 前メキシコ駐在特命全権大使 「低炭素に向かう世界と日本～人々の暮らしの面から～」
	第17回 オランダ王国	2010(平成22) 4.18	駐日オランダ王国大使館 カーラ・ポーンストラ 参事官 「オランダの農業・園芸、土地に依存した自然との共生」
	第18回 ベルー共和国	2011(平成23) 3. 5	ファン・カルロス・カプニャイ 駐日全権大使 「ペルー：大いなる可能性の国」
	第19回 スロヴァキア共和国	2012(平成24) 2.25	ドゥラホミール・ジュトス 駐日全権大使 「スロヴァキア その歴史と文化」
	第20回 エルサルバドル共和国	2013(平成25) 2.23	マルタ・リディア・セラヤンディア・シスネロ 駐日特命全権大使 「エルサルバドルを発見してみよう」

	第21回 モンゴル国	2013(平成25) 6.29	ソドブジャムツ・フレルバータル 駐日全権大使 「モンゴルの歴史、文化、経済と日本の関係」
	第22回 ミャンマー連邦共和国	2014(平成26) 7.13	キン・マウン・ティン 駐日特命全権大使 「最後の秘境ミャンマー ～歴史・文化・経済」
	第23回 台湾	2015(平成27)11.29	沈斯淳 駐日経済文化代表処 「日本と台湾の友好発展」
	第24回 パナマ共和国	2016(平成28)12.10	リッテル・ディアス 駐日特命全権大使 「パナマ共和国について」
	第25回 ドイツ連邦共和国	2017(平成29) 6.24	駐日特命全権大使 ハンス・カール・フォン・フライフェア・ヴェアテルン 博士 「ドイツと日本 共通の課題と異なる解決策」

第1回	駐日イスラエル国大使	アモスガルーノ氏	1993.11. 3
第2回	駐日スリランカ民主社会主義共和国大使館参事官	ガミニ・ジャヤスーリヤ氏	1994. 9. 4
第3回	駐日カナダ公使	ジョセフ・キャロン氏	1996. 3.24
第4回	駐日南アフリカ共和国大使	クリストフェル・カイザー・プリンズ氏	1997. 3.20
第5回	前ペルー共和国大使	青木盛久氏	1998. 2. 1
第6回	駐日セネガル共和国大使	アラジ・アマドゥ・ティアム氏	1999. 3.21
第7回	駐日ウズベキスタン共和国大使館参事官	オファンジャノフ・アリシエル・シャイコフ氏	1999. 6.20
第8回	駐日ベトナム社会主義共和国公使参事官	グエン・ミン・ハ氏	2000. 7. 2
第9回	駐日ラオス人民民主共和国大使館参事官	ブンニョアン・ソンナヴォン氏	2001.11.11
第10回	駐日グレートブリテン・北アイルランド連合王国大使館参事官	マイケル・ノートン氏	2003. 3. 2
第11回	駐日スーダン共和国大使	ムサム・オマール・サイード氏	2004. 3.21
第12回	駐日ラオス人民民主共和国大使館参事官	スーチャイ・ピラティヴォン氏	2004.11.14
第13回	駐日エチオピア連邦民主共和国大使	コアング・トゥットラム・ドゥング氏	2005.11. 3
第14回	駐日チェコ共和国大使	ヤロミール・ノヴォトニー氏	2007.11.24

「世界を知ろう」MIFAコンサート

1992年に、メキシコのアントニオ・ペセーダを招いて開催された「プレイスパニック音楽会」。このコンサートがログハウス委員会主催のMIFAコンサートの始まりでした。以後、さまざまなアーティストを招き幅広いジャンルの音楽を鑑賞できるコンサートとなっています。



第14回 2010(平成22) 2.27

フラメンコ・ソン・デ・アレグリア

多くのフラメンコファンを魅了してきたグループ「ソン・デ・アレグリア」を招いて開催。人生の喜びや悲しみを熱いリズムに乗せて全身全霊で表現するフラメンコを堪能しました。



第15回 2011(平成23)11.12

パラグアイ音楽 アルパデュオ ソン リーサ

スペイン語でハープと称される「アルパ」はラテンアメリカの民族楽器です。日本で活躍しているデュオ演奏家を招き、コンサートを開催しました。



第16回 2013(平成25) 3. 9

ベリーダンスで知ろう! オリエントの文化

中東およびアラブ文化圏で発展したベリーダンス。ベリーダンスを通じて、オリエントの文化に触れることを目的として企画しました。



第17回 2014(平成26) 6.29

馬頭琴とホーミーによる モンゴル音楽とのふれあい

一流アーティストによる馬頭琴とホーミーによるコンサート。前年に、モンゴル国大使講演会を開催したこともあり、モンゴル国の音楽文化をより身近に感じることができました。



第18回 2015(平成27) 3.29

MAYA フォルクローレコンサート ～アンデスの風に出会う時～

アンデスの伝統音楽フォルクローレ。会員数拡大を目的に、多くの一般市民の来場を目指し、初めて中央公民館で開催。開催約一カ月前にはチケットが完売し、市民の関心の高さがうかがえました。



第19回 2016(平成28) 6.18

音の旅に出かけよう♪～耳をすまして～

NHKラジオ深夜便「景色の見える音楽」「音の絵本」で知られる話題の音楽家、守時タツミさんのピアノライブ。自然の音からインスピレーションを受けて制作された楽曲を鑑賞しました。



第20回 2018(平成30) 7.29

ラオス 伝統舞踊と伝統人形劇

MIFA設立30周年記念事業の一つとしてラオスから13人の高校生と引率教師2人を招聘。いこいの郷常総で開催されたコンサートは300人を超える来場者があり、大変な盛り上がりとなりました。

MIFAコンサート 第1回～第13回

プレ	「メキシコ・プレイスパニック音楽会」	アントニオ・ペセーダ/ログハウス	1992.11. 1
第1回	「ルーマニア正教会総主教座合唱団コンサート」	アサヒビールオリエンテーションシアター	1993.12. 4
第2回	「上村泰一ジャズコンサート」	ログハウス	1994.11.19
第3回	「ラインネッカー四重奏団コンサート」	アサヒビールオリエンテーションシアター	1995. 9. 2
第4回	「フォルクローレコンサート」	クントゥル/アサヒビールオリエンテーションシアター	1996. 9. 7
第5回	「SOURCE～源」	デルネス/アサヒビールオリエンテーションシアター	1997.12. 5
第6回	「上村泰一ジャズライブ」	ログハウス	1999.12. 5
第7回	「上村泰一カルテット・ジャズライブ」	ログハウス	2001. 3. 18
第8回	「中国音楽のしらべ」	ログハウス	2002. 3. 17
第9回	「サルサのタベ」	アフロクバーノス/ログハウス	2003. 3. 15
第10回	「音楽で世界を巡る」	ログハウス	2003.10.19
第11回	「ワークショップ能」	能楽師 梅村昌功/ログハウス	2005. 2. 12
第12回	「バンドゥーラの弾き語り」	ナターシャ・グジー/ログハウス	2006. 1. 21
第13回	「草原のチェロ＝馬頭琴の響き」	ライ・ハスロー、タラー、ジリンバラヤ/ログハウス	2008. 2. 24